

生涯学習ってなんだ

本市への延伸を待ち望んでおりました銚子連絡道路の横芝光町から匝瑳市までの二期区間がいよいよ3月31日に開通いたしました。この開通により地域の活性化など今後多くの効果を発揮するものと大いに期待するものであります。

また、開通を記念して先に行われたイベント「匝瑳市・横芝光町スカイウォーク☆フェスティバル」では子どもから大人まで、道路を埋め尽くすほど大勢の人に参加をいただき、普段歩くことのできない道をそれぞれに楽しんでいただき、記憶に残る素晴らしい開通記念イベントとすることができました。さて、生涯学習について私も昨年開催された立正大学デリバリーカレッジに参加させていただき、あらためて学ぶことの楽しさを感じたところであります。このデリバリーカレッジは同大学との包括連携協定の締結により開催されたもので、同大学の教授が「知的刺激と感動を得られる生涯学習」の場を提供しようと実施している事業です。私が参加した回は「江戸のものづくり技術立国日本の礎はここにあり」と題するもので、江戸から続くものづくりにより、からくり人形から電機へ、釘からスプーンやフォークへ、楽器からオートバイへと派生させていったお話しはとても興味深いものでした。生涯学習とは、一般的に「生涯を通じて生活や職業能力の向上、自己の充



実を目指して各人が自発的意志に基づき、必要に応じて、自己に適した手段・方法を選んで行うこと」とされています。

生涯学習の原点は「家庭教育」で、生涯学習の基礎を培う「学校教育」、生涯学習で人間を磨く「社会教育」、地域に根ざした学習活動を進める「団体活動」、個性豊かな学習活動を展開する「民間教育」があります。匝瑳市では、それらの活動を支援・推進し、またその学習の成果を生かすことができる生涯学習社会を目指し、学校・家庭・地域および各関係機関と連携を図りながら、各種事業の実施に努めています。今月号の6・7ページに掲載している各種講座や教室もその一つですが、それぞれに合った学びを見つけ、人生100年時代と呼ばれる時代が訪れているなか、人生を豊かにする大切なものとして生涯学習に取り組んでみませんか？先の3月定例会では議員各位のご理解のもと、新年度予算を含む32議案に可決・同意をいただきました。今月号で新たな取り組みについてご紹介しておりますが、今住む人が幸せに暮らし、若者や子どもたちが住み続ける地域づくりにまい進してまいります。

匝瑳市長 宮内康幸

匝瑳探訪 戦没者慰霊

吉田を歩く

4月3日(水)、吉田地区で「招魂社」と呼ばれる戦没者慰霊祭が行われます。地区の中心にある吉田小学校や保育所に隣接して熊野神社があり、それを背にするように招魂社がまつられています。招魂社は明治維新の殉難者慰霊のため各地でまつられ、東京招魂社は1879(明治12)年「靖国神社」に、地方でも「護国神社」と改称されたとされます。

境内にある「招魂社のいわれ」の案内板には、1912(明治45)年に帝国在郷軍人会吉田村分会が設立したと

あります。同会は傷痍軍人や軍人遺族の救護などを目的に明治43年に発足し、分会は市区町村内の会員で組織されたといえます。

1916(大正5)年の吉田村の世帯数280戸、人口1590人、村在郷軍人会の会員は95人でした。

1904(明治37)年2月から翌年9月にかけての日露戦争には境内の「従軍記念碑」によると、吉田村から33人が出征しました。碑は終戦後、1905(明治38)年12月に建てられましたが、碑に名の刻まれた出征兵士のうち1人の戦死が生家に伝えられたものの、後に無事帰郷したことが当時の新聞で報じられました。

本社右側にある高さ60cmほどの墓塔は1877(明治10)年の西南戦争に出征し、現在の熊本県山鹿市で戦死した人のもので、招魂社がまつられたたれここに移されたのでしょうか。

「招魂社のいわれ」によると、西南戦争から先の太平洋戦争までの戦没者114柱がまつられたとされます。

4月3日の戦没者慰霊祭は、招魂社創立の1912年から110年余り続き、かつては「招魂祭」や「村の春季祭日」、「三の午」ともいわれ、にぎわいを見せました。

「英霊に対する感謝と平和の尊さを永く後世に伝承を祈念し」、「招魂社をまもる会」に引き継がれています。

(市文化財審議会委員・依知川雅一)

問 秘書課広報広聴班 ☎73・0080



吉田地区の招魂社

文芸コーナー

力作募集中

宛先：匝瑳市秘書課広報広聴班
〒289-2198 匝瑳市八日市場八793番地2
☎73・0080 FAX72・1114

短歌

依知川 雅一 推薦

梅一輪思いのままの花びらに

白とピンクの咲き分け見事

鈴木 知子

幼な友年に一度の集まりは

四人かしまし話すも聞くも

高橋百合子

寒中に落葉の中にふきのとう

まだまだまだ春は遠いのに

内藤喜代美

辛いとき楽しいときも寄り添える

かけがえのなき友に幸あれ

木下 昌子

店閉じた老舗の多田屋跡地には

何が出来るか思い巡らし

小川 一夫

近年の寒暖の差に驚きぬ

籠り居の日々「デコピン」が欲しい

大木 洋一

姑もその母も着た想い出を

仕立て直して我も装う

鈴木 和子

川口 城司 推薦

冬の草根の張り強く長々と

土を掴みて春を待ちあむむ

伊橋 良子

顔ゆがめ一生懸命走る子等

真冬の空気熱さに変わる

伊橋 裕子

枯草を刈ってまとめて火を放ち

今年の稲作準備始める

石田 治

俳句

椿 和枝 推薦

背の高さ五ミリ縮むや木の芽風

犬の顔哲学者めき風光る

佐々木之子

音階の少しはずれて初音かな

反り橋の朱のゆらゆらと春の水

吉井 八流

外に出れば野焼の匂ひをちこちに

田の泥の色黒々と寒もどる

那須 恒雄

うららかや車を降りて歩きけり

空襲忌三月十日にひっそりと

山崎智恵子

福笑い外は北風雪催い

うららかや車を降りて歩きけり

須貝 玉枝

川柳

勝又 康之 推薦

驚きは突然怒る地震殿

二月なかば気温二十度冬ですか

土屋 秀雄

一〇〇歳は驚ろくなかれ普通です

孫食べた回転寿司を十五皿

佐久間美智子

明日我が身元旦能登の大地震

出た虫が家内の声で逃げ惑う

岡田けい子

庭の木も歳をとったね花咲かず

庭の木も歳をとったね花咲かず

小川 敏榮

コンビニがキッチン代わり独り者

妻出かけコンビニ弁当昼と夜

江波戸京子

巻之式

匝瑳

スズキ発見伝

花鳥風月のまち 匝瑳市

4月は比較的過ごしやすくお散歩にぴったりな陽気です。

市観光協会では「天神山桜まつり」を4月7日まで開催しています。私もお手伝いとして桜まつりの準備で市内を歩いていると一本の桜の木が目にとまり「きれいに咲いているのはこの時期だけなのか」と、ついカメラのシャッターを切りたくなりました。都心にいたら気付かなかった花の美しさ。デスクワーカー・スマホ人間である私のような人には、桜を見ながら歩くことは

最高のデジタルデトックスであると感じました。皆さんオススメのお花見スポットがあればぜひ教えてください！すぐに取材に行きます！

「匝瑳市は観光地ではない」という声をよく聞きますが、魅力的なスポットを発信し続けることでいつかは観光客の目に留まり、来訪に繋がるのではないかと私は考えます。

イベントなどの情報を募集中

☑y.suzuki.sosa@gmail.comまで

地域おこし協力隊員の鈴木優介さんが、SNSで発信した市内イベントなどのイチ押し情報をピックアップしてお知らせします。



月明かりと夜桜(見徳寺前にて)